

「交流サロン」だより

in 大仙 3月号

2024



あの震災から十三年、今年も「追悼の儀」が「あきたパートナーシップ」の主催で開催されました。年の始めに起きた能登半島地震の報道を目の当たりにして、大震災当時の記憶が昨日のようによみがえった被災者も多くいたのではないかと想います。毎年のように発生する自然災害をどう乗り切るかが私たちに与えられた課題では、と感じています。さて、今回「追悼の儀」に参加してこれまでとの違いを感じるものが出来ました。それは、報道関係者との距離感です、閉鎖された空間から解放された空間に、大きく変わったのを感じられました。関係者と被災者が和気あいあいとして答えている姿に十三年と言いつ時が変えたのかな、それこそ、「今だから話せる」を、証明してくれました。「これも支援されている方々が継続してくださった賜物と感謝の想いでいっぱいです。秋田県内の震災による避難者も年と共に減少傾向にあるのが現状ですが、「今だから話せる」を大事にすると同時に、そのことがこれからの災害対策に役立てられると信じています。当「交流サロン」も細々ながら継続していく決意です。

マイフォト一言

地面が霜で真っ白に覆われた朝「盛岡」行の一番列車が寒そうにやってきました!! 思っていた以上に春の訪れが足踏みをしている状態に、今年も天候に振り回されるのかと深いため息をつきながら、シャッターを押した一コマです。空を見上げると、手前と遠くの色が違っています。天候の変わりやすさを表しています。これからまだまだ寒暖の差が激しいのかな!! 早く山菜の季節が来て、桜が咲いて、木々が芽吹き・・・そんな想いを馳せながら耐えている私です。

マイフォト 「霜が降いた、朝!!」 令和6年3月24日 AM 6:32頃



4月の交流サロン
4月28日(日)
「折り紙」教室
午前10時〜午後3時迄
先日の会議で、今年のテーマは「花」と決まりました!!

ところ：はびねす大仙
参加費二百円
小学生以下無料



北はまだ寒いのか?

そろそろ、「北帰行」が始まるのではないかな!! 一生懸命命を懸けて田圃を眺めたら、一生懸命命を懸けて田圃をついでいました。北はまだ寒いのかな!! 「只今準備中」でした。



未だ、「北帰行」ならず!!

今月の「交流サロン」から

今年度最後の「交流サロン」となりました。相変わらず、感染症対策に振り回された一年となりましたが、「笑顔と元気でつながる輪Ⅳ」が大盛況で実現できたこと、大曲駅連絡通路の作品展示が好評を博したことなど励みとなったこともたくさんありました。これも皆さんのご理解とご協力のお陰と感謝いたします。

【今日のメニュー】
エスニック風焼きそば(調味料にスイートチリソースなど)・鶏ひき肉とセロリのスープ・ワサビ菜とセロリのサラダでした。皆で楽しそうと考えた献立でしたが、短時間ながらそれなりの味になり満足していただけたようです。来年度も細く長く継続していきますので宜しくお願いします。



今年度の実績と次年度の計画



「エスニック風焼きそば」

東日本大震災による避難者を
支援する秋田県南連絡協議会
発行 「大仙フレンズ」 担当 高橋 和美
連絡先 〇九〇一九六七〇二八五二